

アーカイブズ

# ARCHIVES

沖縄県公文書館だより 第25号

平成16年 7月20日発行



# 特集 沖縄戦関連映像資料

## ～在米沖縄関係収集資料より～

沖縄県公文書館では、米国国立公文書館を中心に沖縄戦関連映像資料の調査を進めており、現在、把握されているだけで、約1400リールの沖縄戦関連映像資料の所蔵が確認されています。当館では、これまで琉球列島米国民政府(USCAR)フィルムを含め沖縄戦関連映像資料を152タイトル(163巻)収集しています。これらの資料のうち、沖縄戦関連映像資料は、米軍が戦況や制圧した地域の状況を映像で記録したもので、当該資料については、平成13年より収集に着手し、特に、民間人や基地建設といった県民の関心が高いと思われる主題を優先して収集しています。

今回、米国国立公文書館より平成14年度に収集した28件(35巻)、平成13年度にゴードン・ワーナー博士より寄贈いただいた2件(2巻)の計30件をVHSテープに複製し、平成16年6月15日より閲覧利用に供しています。



「後退する日本軍」

Japanese are driven back in Okinawa battle

1945年(3分12秒/白黒/音有)

(資料コード 0000044684)

与那原へと続くトゥームヒル(現在の中城村南上原一帯の丘陵)をめざして徒歩で進攻するの米軍の様子です(映像のナレーションより)。その他、慶良間の艦砲射撃、陥落した首里城、北部、南部戦線の様子を撮影した映像があります。



「那覇飛行場」

Naha Airfield, Okinawa, Ryukyu Islands

1945年(10分/白黒/無声)

(資料コード 0000044666)

1945年8月20日に撮影された那覇飛行場建設の様子です。日本軍飛行機の残骸を片付け、重機で地ならしをする様子を捉えています。その他、読谷飛行場、伊江島飛行場、本部飛行場の空撮映像もあります。



「金武占領」

Occupation of Kin, Okinawa, 1945

1945年(4分/白黒/無声)

(資料コード 0000044672)

集会所に集められた民間人の様子です。映像タイトルから金武で撮影されたものと思われます。民間人を撮影した映像は、公開する映像フィルムの約半分を占めており、栗国島、慶良間、南部等の壇から投降する映像、収容所での生活、建設作業の様子などがあります。

## 6月15日に公開した沖縄戦関連映像フィルム一覧

資料コード	資料タイトル	資料コード	資料タイトル
0000044661	Ammo Dump Explosion and Oil Fire in the Ryukyu Islands/弾薬集積場爆発	0000044676	Mass Surrender on Okinawa,1945/大量の投降者、沖縄 1945年
0000044662	Eight Air Force Flag Raising, Okinawa/旗を掲揚する第8航空隊(沖縄)	0000044677	Okinawa Occupation, 1945/沖縄占領 1945年
0000044663	Freak Accident, Okinawa, Aftermath/異常事故、沖縄、事故後の様子	0000044678	Operation Pluto[etc.], 1945/ブルート作戦ほか 1945年
0000044664	B-29's landing on Okinawa/沖縄に着陸するB-29	0000044679	President Arrives for Conference[etc.],1945/「会議に到着する大統領」ほか 1945年
0000044665	General View of Quarters, Okinawa/地域の概観(沖縄)	0000044680	President Arrives for Conference[etc.],1945/「会議に到着する大統領」ほか 1945年
0000044666	Naha Airfield, Okinawa, Ryukyu Islands/那覇飛行場(沖縄、琉球列島)	0000044681	Assault on Okinawa[etc.],1945/「沖縄への猛攻撃」ほか 1945年
0000044667	Okinawa Activities, Okinawa Shima, Ryukyu Islands/沖縄での活動、沖縄島、琉球列島	0000044682	San Francisco Conference Moves Ahead [etc.],1945/進展するサンフランシスコ会議ほか 1945年
0000044668	Aerial Survey, U.S. Air Bases, Okinawa/上空からの調査、米空軍基地、沖縄	0000044683	Aircraft Carrier Is Named for President Roosevelt[etc.],1945/「ルーズベルト大統領にちなんで名づけられた航空母艦」ほか 1945年
0000044669	Typhoon Damage, Food Supply, and B-29 Landings, Okinawa/台風被害、食料供給及びB29	0000044684	Reveal Undersea Oil Line,Britain to Continent [etc.], 1945/「海底の石油ライン 英国から大陸へ」ほか 1945年
0000044670	Objective: Security 1945/防衛 1945年	0000044685	Gigantic Parade Marks May Day in Moscow [etc.],1945/「五一を記念した大規模なパレード」ほか 1945年
0000044671	Battle babes of Okinawa, 1945/沖縄の戦争孤児 1945年	0000044686	Final Victory on Okinawa -Allies Invade Borneo/沖縄における決定的勝利—ボルネオ侵攻
0000044672	Occupation of Kin,Okinawa, 1945/金武占領 1945年	0000044687	Huge Flying Ship "Hawaii Mars" in Trial Run/試走する巨大飛行船「ハワイマース」ほか
0000044673	Okinawa-The Last Battle, 1945/沖縄 最後の戦い 1945年	0000044688	Jet-propelled P-80 is world's fastest plane[etc.],1945/「世界最速のプロペラジェット機P-80」ほか 1945年
0000044674	Final Phases of Okinawa Action,194[6]/沖縄作戦の最終局面 194[6]年	0000044689	Battle of Okinawa, No.2/沖縄戦 No.2
0000044675	Japanese Surrender on Okinawa, 1945/日本人降伏、沖縄 1945年	0000044690	Battle for Okinawa, No.3/沖縄の戦い No.3

映像フィルムは閲覧室のミニシアターやビデオブースでご覧になります。

詳しくは、閲覧カウンターへお尋ね下さい。

### お願い

収集した沖縄戦等映像資料の中には、撮影地や被写体が特定できないものがありますので、皆様からの情報提供をお待ちしています。

## ・映写会の開催

## 平成16年度 沖縄県公文書館収集映像資料映写会 ～米軍撮影映像資料に見る沖縄戦～

平成16年6月22日、当館講堂で「沖縄県公文書館収集映像資料映写会～米軍撮影映像資料に見る沖縄戦～」を開催しました。「慰靈の日」の前日ということもあって、会場には多くの観覧者が集まり、沖縄戦に対する关心の高さがうかがえました。当初は、14時と19時の2回の上映予定でしたが、昼間は再上映を行い、計3回の上映となりました。

この映写会では、2・3頁でご紹介している沖縄戦関連映像資料30件の中から、6件を上映しました。上映内容は、下記のとおりです。これらの映像資料も、閲覧室でご覧いただけます。

また、市町村等公共団体へのVHSテープの貸出も行っています。どうぞ御利用下さい。



映写会上映資料一覧

タイトル	資料解説
Assault on Okinawa/ 沖縄への艦攻撃	艦隊、空母から飛び立つ航空機、敵艦への攻撃、対空砲による特攻機への攻撃、墜落する特攻機、空からの攻撃など。
Agric Invasion/ 農園爆撃	艦隊、上陸用舟艇、上陸、島から出でる日本兵や住民、子供ら、おびえながら伸び立てる婦人、たばこをくわう婦人など。
Additional Film on Shuri Line/首里城線 の追加映像	物資の陸揚げ、前進する歩兵、戦車、火炎放射器、戦車とともに住宅地を進む米軍隊、飛行機からの物資の投下、炎にする駆逐艦など。
Occupation of Kin, Okinawa, 1945/ 企武占領 1945年	港に手榴弾を投げ込む米兵、火炎放射器、爆破された建物の片鱗(住民あり)、「興亞会館」の倒壊(犠牲者が映ってない)、「昭和18年9月 楽寿田牛久の木箱」、移動する住民の様子など。
Okinawa Occupation, 1945/ 沖縄占領 1945年	住民から聞き取られる中、収容所、米軍道具を担ぎながらの移動、トラックでの移動、並んでから米射撃道具の運び出し、基地建設への搬入出し、派遣・撤退、住民強制、レンジ・配給、分離、住居選択など。
Battle of Okinawa, No.2/沖縄戦 No.2	銃撃、手榴弾投げ、火炎放射器、「敵を撃く」プロジェクトで物資を投げ下す、ショーガーロープの攻防戦、第3空挺軍用雷撃隊、海兵隊第1師団、海兵隊第6團隊のカマラマンが活動。

## ・新着資料

## 名嘉正八郎砂糖関係資料

沖縄県公文書館運営懇話会委員の名嘉正八郎氏より、沖縄黒糖史の研究に際し収集した資料44点の寄贈をうけました。名嘉氏が『沖縄・奄美の文献から見た黒砂糖の歴史』(ボーダーインク、2003)の原稿を書き終えた機会に寄贈されたもので、当館で整理し閲覧に供しています。

名嘉氏は、黒糖史の資料調査の過程で日本糖業日報社社長山下久四郎氏(1901~1982年)と出会い、戦前の沖縄糖業関係資料などを多数所蔵していることを知りました。名嘉氏の仲介により、その資料の大部分は1976年(昭和51)に沖縄県立図書館へ寄贈され、山下久四郎文庫が設置されました。

今回、名嘉氏から寄贈された資料の中には、山下氏が沖縄県や鹿児島県糖業課の嘱託時代(大正・昭和初期)に収集した『砂糖座日記』や『砂糖座旧記録』の複製資料も含まれており、山下文庫には収蔵されていない「製糖場規則 共同製糖場設置補助規程」や「郡市町村駐在技術員協議会議案 昭和10年1月」などもあり、沖縄糖業史を知る上で貴重な資料です。



「製糖場規則 共同製糖場設置補助規程」  
(資料コード:0000042264)



「郡市町村駐在技術員協議会議案 昭和10年1月」  
(資料コード:0000042265)

# 常設展

公文書館の展示室では、公文書館の収蔵資料を紹介する常設展を開いています。沖縄県公文書館がこれまで収集・整理した収蔵資料を資料群別にコーナーを設け、解説とともに資料の一部（原資料や複製）を展示しています。

## 琉球王国時代の公文書コーナー

琉球王国の行政文書であり、外交や内政を垣間見ることのできる評定所文書や、中国の明・清朝と琉球王府の間で交わされた外交文書である档案資料の複製が展示されています。



## 戦前の沖縄県文書コーナー

第2代沖縄県令上杉茂憲関連資料の一つ沖縄県日誌（複製）や、鍋島文書、戦前の沖縄県行政刊行物などが展示されています。

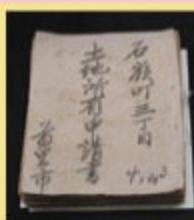


### 沖縄県日誌

明治14年から16年6月の全20冊から成る行政記録で、漁業後間もない時期の沖縄県政を知るうえで一級の資料です。

## 米国の沖縄統治関係資料コーナー

当館では、米国政府機関を出處とする沖縄統治関係の公文書を米国国立公文書館等より収集し、所蔵しています。琉球政府の上位機関であった琉球列島米国民政府(USCAR)の公文書を中心に、米国務省や国防総省の沖縄関係の公文書、写真、映像資料も収集しています。その中から、米国海軍軍政府布告第1号（ニミツツ布告）の複製や、米軍・USCAR撮影写真の一部等を展示しています。



土地所有申請書

## 琉球政府文書コーナー

1952年4月1日から1972年（日本復帰）までの間、琉球政府が作成、收受した公文書約16万簿冊の中から、土地所有申請書や一筆限調書、その他琉球政府関係資料を展示しています。土地所有申請書は戦災で土地関係公簿・公園が焼失し、不明になった土地の境界や所有権者を明確にするために作成されたものです。閲覧室でマイクロフィルムにより閲覧できます。

## 日本復帰後の沖縄県文書コーナー

1972年（昭和47）の日本復帰以後、当館では、沖縄県が作成、收受した文書の中から歴史的に重要なものを評価選別し収集しています。その中から、沖縄県沖縄国際海洋博覧会協力局計画調整室を出處とした「進行管理及び重要事業 昭和49年度」等の沖縄県文書や沖縄県の発行した行政刊行物を展示しています。

## 地域資料コーナー

地域資料とは、沖縄県の公文書を理解する上で参考となる資料のことと、沖縄に関する他の行政機関の公文書、古文書、私文書（県行政の長の個人文書等）、沖縄関係の図書、映像、音声資料などがそれにあたります。その多種多様な中から特徴的な資料を展示しています。

現在展示しているのは、平野薰資料、久場政彦資料、島津家文書、ジョージ・H・カーリー資料、エドワード・O・フライマス資料、ジェラルド・ワーナー資料、ゴードン・ワーナー資料、岸秋正文庫、溝潤政一資料などです。

## 利用者の声

### 「カティムノー、チャッサトウラワン、ヤーヤクースナ」

陳氏幸喜門中誌編集委員 幸 喜 德 雄



である。

「汝の立つ所…」の言葉は、門中誌の編集に携わり、殆ど毎日のよう

に公文書館に通う私への励ましであり、「座右の銘」でもあった。我々の『陳氏幸喜門中家譜』には、一世が一六一七年に来筑した時の状況、陳氏にまつわる伝承等が記され、その翻刻及び先祖の歴史が『明譜』として最近ようやく刊行された。明譜(アチヌー)とは、「おもろ」にも詠われている外洋からのがた一筋の群青色の水路のこと、その周辺は、古代より豊かな漁場であった。

私の祖父は無学だが、久米村氣質の残る明治生まれの海人(うみんちゆ)であり、タイトルの「カティムノー…」は彼の口癖であった。つまり、「獲物を獲るために棲家は壊すな。いつたん破壊された棲家には二度と獲物が棲むことはない。」といふ意味である。これを私なりに解釈すると、公文書館は、魚の豊富な漁場のような場所であり、そこから様々な情報(獲物)を獲得することができる。しかし、その漁場である公文書館(=資料)を大切にしなければ、貴重な情報(獲物)の収集(収穫)はできないというよりも解釈できる。一老人の長い年月に培われた経験から生まれた言葉は非常に重く、身につまされる思いである。

私達は、先人が残してくれた貴重なこの財産を受継ぎ、共有すること

で郷土の文化を未来永劫、子や孫に継承することが可能になると信じてゐる。それには充実した棲家(公文書館)と豊富な獲物(情報=資料)の保全や収集に公文書館の果たす役割は計り知れない。公文書館の収蔵資料の充実はもとより、レファレンスのサービス向上に一層の努力を県民の一人として期待したい。

公文書館の玄関の天井に「深く掘れ、己の胸中の泉、餘所たよて、水や汲まぬことに」という文字が刻まれている。これは、ドイツの哲学者ニーチェの「汝の立つ所を深く掘れ。其處には泉あり」の箴言を沖縄学の父・伊波普猷が琉球語に訳したものとして広く知られている言葉である。

## 知つてると便利

### 「紙の目」

紙に目があるのを存じでしようか。

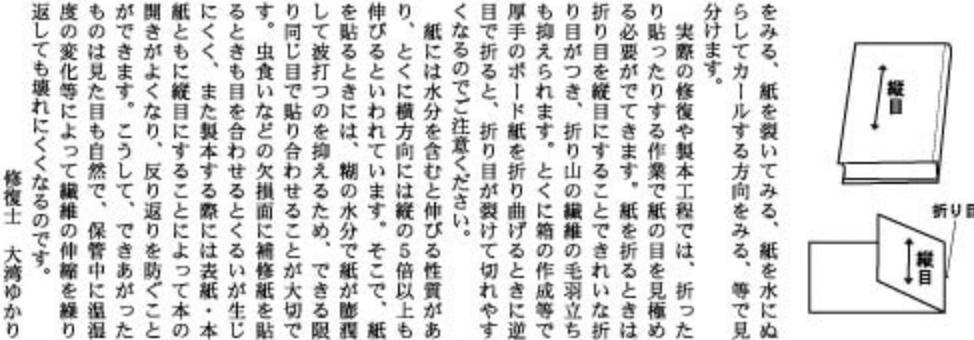
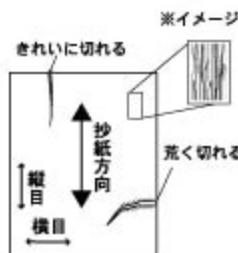
紙の目は「紙の繊維が並んでいる方向」のことと、抄紙方向が縦目、逆の方向が横目もしくは逆目といいます。目の見極めは、資料を修復する際、きれいに仕上げ長持ちさせるための重要なボ

イントです。

紙は、もともと植物繊維を水中でほぐし、それを漉いて薄く平らにしたものです。手漉き和紙のように糸を前後に掻しながら漉く場合には、繊維は糸の方向に並びます。ですから、紙を透かして糸の繊維を探れば繊維の方向が判別できます。糸の目が縦目、糸が横目といつた具合です。

一方、機械漉きの場合には、繊維が網(金網)上に乗って進んでいく間にその方向に並ぶのでこれが縦目ということになりますが、大抵はつと見だけでは判別しにくいものです。とにかく、洋紙は繊維の密度が濃く光に翳しても透過しません。そこで、この場合には、紙を揉んで剛性(コシ)を見る、紙の一端をぶら下げて曲がり

く間にその方向に並ぶのでこれが縦目ということになりますが、大抵はつと見だけでは判別しにくいものです。とにかく、洋紙は繊維の密度が濃く光に翳しても透過しません。そこで、この場合には、紙を揉んで剛性(コシ)を見る、紙の一端をぶら下げて曲がり



## 公文書館と「民主主義」

公文書館は社会がどれだけ民主的であるかを計るパロメータになる――。

これは、アメリカでよく耳にすることですが、私がここに来て公文書館について勉強するまでは考えの及ばないことでした。それまで公文書館とは古文書を保存・閲覧するための場所で、「現在」の社会とはあまり関係がないように思っていました。ところが、歐米の公文書館を見ていくと、文書の保存や閲覧だけではなく、行政機関における文書の作成から保管、廃棄に至るまでを総合的に管理する機能まで備えていることが分かつてきました。文書管理という機能を通して行政のアカウンタビリティ（説明責任）を支えているのです。米国

国立公文書館のジョン・カーリング館長は、「公文書館はアメリカが百年後も民主的な社会でいられるかどうかの鍵を握っている。」

公文書館の衰退は、民主主義の衰退を意味する」とまで言いつています。ところで、アメリカが標榜するこの民主的社会とはどのようなものでしょうか。実は、これは私が仕事をしていく上でもとても重要な問いでした。

公文書を理解するためには、それを作り出した組織の機能や構造を理解することが大切だとされていますが、アメリカの神綱統治では民主化が施策の柱になつていました。当時、沖縄は「民主主義のショーウィンドー」と言われ、地域の安全保障とともに民主世界の実現が統治の根柢にされていました。しかし、当時の実際の運用を見て

みると、住民の自治権を抑圧したり、政治労働運動に介入したり、とても民主的とは呼べないものが多々ありました。そこで

アメリカの沖縄統治を理解するためにには「民主的な社会」とは何かという問いが重要になります。

これは、納得のいく答えが見つかず悶々としていた時、戦後日本を代表する政治学者丸山真男の言葉が目に留まりました。丸山は、民主主義とは理念、制度、文化のどのレベルで見るかによって定義が出てくるので、その本質は、常に民主的であろうとする絶え間ない努力の過程に見出せると言っています。

民主主義国家の盟主を標榜しているながら、アメリカがとつてきた政策が常に正しいとは限らないことは歴史が証明しています。その一方で、アメリカほど立場や意見の違う人々が自由に議論をぶつけ合える国がないのも確かです。「常に民主的であろうとする努力」の度合いから言えば、まさに民主主義国家の盟主と呼べるかもしれません。

現在、アメリカでは「九一一テロ事件」や「イラク人捕虜虐待事件」において、大統領や政府高官がどの時点でのくらい状況を把握し、適切な措置をとつていたかが問題になつていて、世論の圧力に押される形で機密指定文書が次々に公開されています。それが可能なのも意匠的な文書の隠蔽や廃棄を許さない文書管理制度があるからです。アメリカにおいて公文書館を中心とする文書管理制度が健全に機能している限り、より民主的であろうとする力も衰えていくことはないような気がします。

投票箱 より

**常設展** 社会福祉史、児童福祉史関係資料の展示をお願いします(50代男)。  
県外からの来館者のために、空港の案内所等で広報を(60代男)。  
沖縄の歴史と文化がよくわかった(10代男)。

## 閲覧室から Q & A

閲覧室に寄せられた資料に関する質問をレファレンス記録簿からいくつか紹介します。

- Q 昭和20年半ば頃の沖縄県(琉球政府)の財政状況がわかる資料はありませんか?
- A 琉球政府文教局発行の『琉球史料 第6集 経済編』に昭和25年の収支決算書の記載がありますので、ご確認ください。
- Q 1960年代のUSCAR(琉球列島米国民政府)の職員録はありますか?
- A USCARにおける沖縄の職員名簿は、1960年、64年、65年度のものがあります。また、組織や各部署の電話番号を記載した資料も所蔵しています。
- Q 沖縄出身者の兵籍簿はありますか?
- A 沖縄県搜査課から引き継いだ陸軍兵籍簿(出身地別・五十音順)を所蔵しています。ただし、個人情報が掲載されているため、閲覧には制限があります。また、海軍兵籍簿は国が所蔵しています。厚生労働省へお問い合わせ下さい。

## 企画展「米国高官たちの沖縄へのまなざし」

日時：平成16年9月7日(火)～10月31日(日)

戦後沖縄の復興に深く係わった米国高官や民間人等から寄贈していただいた資料を中心に展示を行います。



## 映写会「USCARの撮つた戦後沖縄の復興」

日時：平成16年9月17日(金)18:00～18:25

米国から収集した映像資料の中から、特に戦後の復興に関する映像資料を紹介します。

## 講演会「米国統治者の見た沖縄」

日時：平成16年9月17日(金)18:30～20:00

講師：比嘉幹郎氏(沖縄アメリカ協会会長)

企画展に関連した講演会。米国統治時代の高官たちが沖縄をどのように見ていたか、アメリカ留学の経験がある元副知事・比嘉幹郎氏に語っていただきます。

## 講座「沖縄の歴史」

(児童・生徒対象)

日時：平成16年8月4日(水)、11日(水)、18日(水)

14:00～15:30

講師：久部良和子(財)沖縄県文化振興会公文書専門員

第1回は、琉球王国時代の「江戸上り」について、第2回は、鹿児島県から「沖縄戦」まで、第3回は、琉球政府の時代から「日本復帰」について、毎週水曜日の3回連続の講座です。小学校高学年及び中学生の児童・生徒を対象に「沖縄の歴史」を当館資料を通して解説します。

\*電話申込が必要です。

## 資料保存講習会「無線綴じ本の簡易製作」

日時：平成16年8月12日(木)14:00～17:00

講師：大窪ゆかり ((財)沖縄県文化振興会修復士)

無線綴じ本とは、糸でかからず接着剤だけで製本した本で、使う内に骨折れや落丁することがあります。講習会ではこのような本の簡単な補修方法を実習します。材料等の準備がありますので、お電話でお申し込み下さい。

### ● 入館無料

● 開館時間 9:00～17:00 (閲覧請求は16:30まで)

### ● 休館日 月曜日(土日も開館しています)

2004年 7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2004年 8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2004年 9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

(赤色) 休館日

### ● 閲覧室の利用方法

- 初めて利用される方は「利用証」の交付をうけてください。その際は身分証明書の提示をお願いします。
- 利用証をお持ちの方は、閲覧申請をして、資料の閲覧ができます。
- 参考資料室の資料は自由に閲覧できます。
- 閲覧室への所持品等の持ち込みには、制限がありますのでロッカーをご利用ください。
- 資料の館外貸出は原則として行っていません。
- 資料の複写ができます(複写は実費をいただきます)。
- 担当職員が資料に関する問い合わせ・相談に応じます。

### ● 交通の案内

バスをご利用のかたは新川バス停下車

・那覇交通(株)市内線1番

・東陽バス(株)91番

### 表紙解説

沖縄県公文書館では、沖縄関係映像資料を米国国立公文書館などから収集しています。今回収集した映像資料の中には、戦時中の住民の様子を撮影した映像があります。



米国国立公文書館より複製した沖縄戦闘映像フィルム

アーカイブズ  
沖縄県公文書館だより ARCHIVES 第25号  
発行日 平成16年7月20日  
発行 沖縄県公文書館  
編集 財団法人沖縄県文化振興会 公文書管理部  
〒901-1105 沖縄県南風原町字新川148-3  
TEL 098(888)3875 FAX 098(888)3879  
URL <http://www.archives.pref.okinawa.jp>